社協
かかみがはら
KAKAMIGAHARA
2010年10月15日号　No.142

好奇心　あふれる

身を乗り出して講師の話に聞き入る高校生。
福祉を学ぶ学生です。目の輝きがまぶしく感じる、頼もしい光景です。
（岐阜各務野高等学校　子ども福祉フィールド3年生）

この広報紙には、皆さんの会費と
赤い羽根共同募金が使われています。

ウェブサイト http://www.kakamigahara-shakyo.jp/

社協会員・会費募集にご協力いただきありがとうございました

一般・特別会員　36,062世帯
賛助会員　905法人・事業所　　合計　22,112,400円（9月30日現在）

8月には、自治会役員や民生児童委員の皆さまをはじめ、市内法人・事業所、各種団体の皆さまに、社協会員の募集につきましてご協力をいただき、厚くお礼申しあげます。詳細は次号の社協だよりにて報告をさせていただきます。

市民の皆さまからいただきました会費は、ボランタリーハウス事業や支部社協活動など地域福祉推進のための、貴重な活動財源として大切に使わせていただきます。ありがとうございました。

がんばれ玉入れ。体をう～んとのばして

写真はボランタリーハウス『ニコ♡（ニコニコハート）』の一コマです。この日はミニ運動会でした。子育て中のお母さん方の交流の場となっており、保育士や子育ての先輩がボランティアとして参加し、平成21年4月から毎月開催しています。公園デビューならぬ、ボランタリーハウスデビューの子どもさんも。ハウスに通うお母さんからは「友達もできて楽しいです。毎月子どもが心待ちにしています。」「スーパーの掲示板を見て、今回初めて参加しました。」などの声が聞けました。

仲間がたくさんできました

ボランタリーハウスは、高齢者のハウスもあり地域交流の拠点として市内で67か所開かれています。

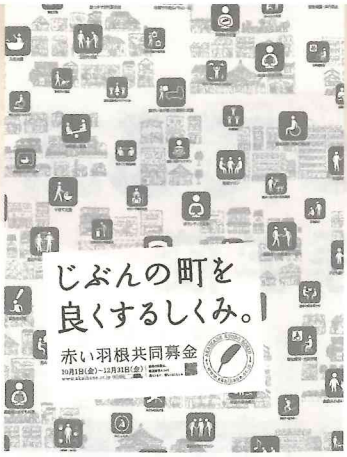
支部社協活動も会費を財源としています。

多くの人でにぎわいました

社協蘇原南部支部（大川幸夫支部長）では、『地域ふれあいの会』が開かれました。子どもからお年寄りまで世代を越えて、約150名の方が交流しました。お手玉、万華鏡、折り紙細工、ミニコプターの4つのコーナーを設け、作る楽しみと、遊ぶ楽しみを大人も子どもと一緒に楽しみました。

お手玉コーナーが大人気

蘇原第二小学校の6年生、亀田智帆さんは「初めて作るおもちゃばかりで、とても楽しかったです。特にお手玉作りが面白かったです。作り方を細かく教えてもらったので、家でもまた作ってみました。また来年も行けたらいいな。」と感想を寄せてくださいました。



赤い羽根の季節になりました

10月から共同募金運動が始まりました。お寄せいただいた寄付金は様々な福祉活動に活かされます。今年も何卒ご協力をお願いいたします。

共同募金が使われている福祉協力校での福祉授業の様子をご紹介します。

ふれあいのようす

◇那加第二小学校（5年）

雄飛ヶ丘保育園の子どもたちや障がいのある方を招待し交流会を行いました。全体集会の後、グループに分かれてお話を聞くふれあいの会をもちました。車いすで生活されている大橋那奈子さんからは、小学校時代、友達が教室の移動にお助け隊を作ってくれ、神輿のように担いで階段を上り下りしてくれたことを聞きました。「車いすの人にまちで出会ったら声をかけようと思います。」との感想が聞かれました。

◇中央中学校

昨年に続き校区内の3小学校の児童会と企画した「CRU クリーン活動」が行われました。自分たちの地域を自分たちの手で美化活動することを通して、心の交流を図り互いに理解を深めていく活動です。今年は自治会長さんから要望のあった場所も含め、地域の公共施設や駅、公園などを清掃しました。

地域のために汗をかきました

◇稲羽東小学校（4年）

目の不自由な方へ情報を伝える、点訳と音訳の体験をしました。

点筆をもつ手に力が入ります

点字サークル「あけぼの会」と、かかみがはらテープマガジン「あじさいの会」の方が講師です。初めての体験に緊張気味の子どもたち。真剣な表情が印象的でした。後の意見交換で、いろいろな声を聞けるのも楽しみの一つです。

この活動を通して、ご近所の人たちに子どもたちのことを知ってもらうこと、小中学生には「みんな友だちだよ」とわかってもらうことなど、私たちの蒔いた種が少しずつ根づいていることを感じます。これからも一人でも多くの人たちが子どもたちの応援団になってもらえるよう願っています。

ボランティアグループ紹介 71

手をつなぐ育成会 チームキャラバン各務原

研修会の様子

手をつなぐ育成会は、知的障がいのある人たちを支える活動をしています。なかでも力を入れているのが障がいを知ってもらう活動です。

2007年に「子どもたちのことを知って欲しい」と若い母親たちを中心に「チームキャラバン各務原」を結成しました。

講演の依頼は学校、福祉関係者、市民などさまざまです。内容は発達障がいの疑似体験や寸劇など参加者にあわせ楽しく、わかりやすく、少し考えてもらうよう工夫をしています。終了

福祉フェスティバルでのブースより

知ってる？
岐阜各務野高等学校

岐阜各務野高等学校には、県内では数少ない福祉科があります。保育士や介護福祉士など、将来福祉の現場で活躍する生徒が学んでいます。

とっても楽しそう

福祉は「ひと」を幸せにする学問です。生徒たちは単に技術や知識を得るだけでなく、その学びを、地域の交流に活かしています。今回はその取り組みを紹介します。

3年生では、佐野豊波玲（佐野玲子）先生を講師に招き、健康体操を学びました。先生は民踊の師範として普及活動のかたわら、福祉施設などで民踊を披露するなどボランティアをされています。

おどりの手ほどきをうけました

生徒たちは日本の踊りの文化について話をうかがい、その中で家族・地域の絆の大切さや、女性としての立ち居振る舞いなどを学びました。実際、先生を手本に、現代風のダンスのような踊りから、伝統的な炭坑節やかわさきなども体験しました。

今回の学習は、福祉施設の行事や地域の祭りなどに参加したり、福祉フェスティバルで生徒たちが考案した「キムピー体操」などを披露するなど、学校の外でも活かされています。

正座での授業風景。すがすがしさを感じます

福祉のお仕事
学校教諭（福祉科）

佐々木善隆さん

プロフィール
1981年生まれ。妻・子の3人家族
好きな言葉「苦しさの次には楽しさがある」
教諭の他、社会福祉士、介護福祉士。

○福祉科教諭の仕事内容

担任業務（1年生）、福祉科目（「社会福祉基礎」、「生活支援技術」など）の授業や施設実習の指導、実習施設の担当者との連絡等。その他、進路指導部担当、バドミントン部副顧問。

○仕事のやりがい

生徒たちは目的意識が高く、授業や介護実習に対して真剣に取り組んでいます。先日、校外での介護実習がありましたが、利用者さんとの出会いを通して様々な経験や失敗を通して、実習後の生徒の言動から成長を感じています。早い生徒で高校卒業後、社会人として生活していくことになりますので、心身ともにたくましい社会人として送り出す使命感を感じています。

福祉科って
岐阜各務野

続いては、子ども福祉フィールドの2年生。先輩から受け継いでいる劇団「ハートフルかかみの」が社協鵜沼第二連合支部主催の「こどもフェスティバル」に登場しました。

みんなの目がくぎづけでした

練習中におじゃましました

当日は鵜沼西保育所のちびっ子たちや地域のお年寄りの方など200人近くの人が、ソックスシアターを楽しみました。リズミカルな音楽で息の合った動きや、ひょうきんな蛇の動きが来場者を楽しませました。

この日に合わせて、生徒たちが脚本を書き、暑い日も練習を重ねてきました。始める前は、どんな反応があるのかと心配そうな表情でしたが、上演を終えると安堵感とやり遂げた達成感が入り混じり、高校2年生の最高の笑顔を見せてくれました。

今回の取材では、生徒たちのエネルギーが地域を元気にしてくれると実感しました。

○福祉科の教諭をめざした理由

以前介護現場に勤務していましたが、利用者さんの生活や人生を軸に考えた行動と、礼儀や謙虚さをもった現場のリーダーの基礎を作るためには、高校生の段階から関わりたいと思いました。また、ある利用者さんから、「人はどのような人生を歩んできても誰しもが老い、亡くなる。与えられた時間は皆同じ。だったら自分がやりたいと思ったことに挑戦しなければもったいないんだよ。」と言われ、自分を見つめ直しました。そこで、憧れで終わっていた教師への道を目指そうと思い、教員免許を取り直して挑戦しました。介護の知識や技術を単に教えるだけでなく、利用者さん一人ひとりの生活史に目を向けられ、福祉の仕事を通して「人から学ぶ」というやりがいを、自分の言葉で若い人たちに伝えられたらと思ったからです。

1年生集合！

○後輩へのエール

私自身の戒めもありますが、教育者として福祉の現場での経験がすべてではないと思います。高校生という年齢や社会経験をふまえて、生徒に何をどのように伝えるかが大切かと思います。また、国家資格「介護福祉士」を取得させることのみが目的ではなく、「介護福祉士」取得を目標とし、人として成長してもらうことが目的だと考えています。

（インタビュー・写真：土屋直樹）

福祉フェスティバル 29th

ご来場ありがとうございました

山の中のサンプル屋さん。
アイスクリームを作ったよ

仕事中の盲導犬
「まて」の指示をうけて

手話体験コーナー

木工教室

ミナモとららららの夢のコラボレーション

特別支援教育作品展

社協スケッチ

こころを支える十箇条

昨年、地域住民同志の助け合いを学んだ「支えあいサポーター」一期生のフォローアップ研修が行われました。養南病院医療福祉相談室の岡崎勝彦さんを講師に、精神障がいのある人への理解と支援について学びました。「精神障がい者」ではなく、精神障がいのある「人」であり、心を開いて受け入れる気持ちをもっていればお互い幸せになれます。ということを教えてくださいました。

ソフトな語り口で
人がらがあらわれるようでした

笑顔に思わず「撮ってまったがね」

高齢者生きがいセンター川島園での一コマ。あんまり楽しそうなので、一枚記念撮影。この日はランチョンマットを作っていました。めいめいに川島園で作った裁縫箱があり、おもむろに取り出しておしゃべりしながら縫い進めていました。自分で使う物を「みんなと一緒につくるとた～のしいよ。」と笑って答えてくれました。

いい笑顔に思わずシャッター

どこかのフィットネスクラブと見まちがいそう（社協尾崎支部）

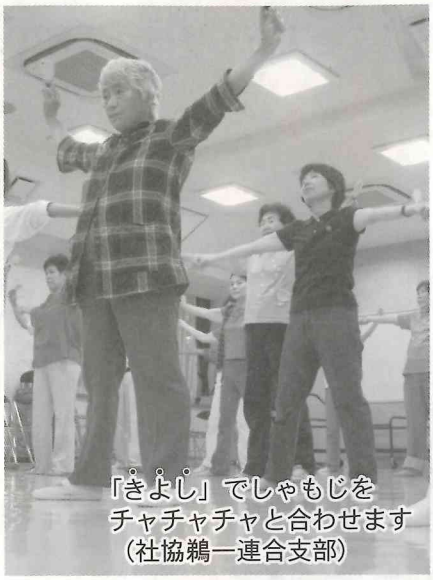
しぶだより 6

支部だより

秋も深まりたくさんの便りが届いています。スポーツの秋から話題をふたつ。

社協尾崎支部（深田宏一支部長）では、健康づくり教室が行われました。地元の方を講師に、チューブを使った筋力アップ体操やリズミカルな体操をしました。なかなか決まってますね。

社協鵜沼第一連合支部（清水稔支部長）では、地域包括支援センタージョイフル各務原から講師を招き介護予防教室が行われました。転倒予防のお話の後、『きよしのズンドコ節』のメロディーに合わせて楽しく体操をしました。



「きよし」でしゃもじをチャチャチャと合わせます（社協鵜一連合支部）

障がい児（者）卓球教室

仲間作りや体力づくりを目的に開催します。運営ボランティアも募集します。

■日　時　11月4日（木）、11日（木）、18日（木）、24日（水）、12月2日（木）各回とも午後1時30分～3時30分
■講　師　各務原市卓球協会
■対　象　市内在住または在勤で身体障がい者手帳または療育手帳をお持ちの方（視覚障がいの方は除く）
■定　員　10名
■会　場　各務原市総合体育館
■参加費　無　料
■持ち物　室内用シューズ、タオル。ラケットがある方は持参ください。
■申込み　11月1日（月）までに電話またはFAXでお申込みください。

社会福祉協議会　総務課
☎058-383-7610
FAX058-382-3233

お達者でクッキング教室

■日　時　11月30日（火）午前10時～午後1時
■会　場　総合福祉会館3階料理室
■対　象　一人暮らしの高齢者・高齢者夫婦の方
■参加費　500円（材料費）
■定　員　25名
■協　力　市食生活改善協議会
■申込み　11月10日（水）までに電話でお申込みください。

社会福祉協議会　総務課
☎058-383-7610

おいしい香りがただよいます

えんぴつdeパズル

子どもさんでも挑戦できます。縦と横の数字をたして合計の合うマスを塗りつぶしてください。あらわれる10月にちなんだ絵は何でしょうか。（デザイン：林美沙希　パズル作成：土屋直樹）

応募方法　締め切り　11月15日必着

はがきにパズルの答え・住所・氏名・年齢・電話番号を明記して下記の宛先までご応募ください。正解者の中から抽選で10名の方に粗品を差しあげます。感想やコメントなども書いていただければ幸いです。当選者は「社協かかみがはら」の次号で発表し、選ばせていただいたコメントはお便りコーナーに掲載します。

〒504-0912
各務原市那加桜町2-163
総合福祉会館2階
各務原市社会福祉協議会
えんぴつdeパズル係まで

＋	2	5	8	4	9	6	3	7	1	8	6	9	7	5	4
6	9	8	15	11	16	13	10	13	8	19	11	16	15	9	8
4	8	8	12	9	13	10	8	11	6	12	10	14	11	10	7
9	15	14	16	13	17	14	12	16	10	18	16	18	14	14	15
2	4	6	7	5	14	9	4	9	5	11	9	10	8	6	6
8	10	14	13	15	17	19	12	14	7	19	14	19	16	12	12
1	3	4	8	5	10	7	6	9	3	9	7	10	9	4	5
3	5	9	11	7	12	9	5	10	6	11	9	12	10	9	7
7	9	13	14	18	15	14	10	14	8	16	5	18	15	11	11
5	7	11	9	10	4	12	9	13	8	15	12	11	13	12	9
4	6	8	17	8	16	10	6	11	4	12	13	13	16	8	8
9	11	15	18	5	18	15	12	16	10	17	15	1	3	10	13
1	5	6	8	4	11	7	4	8	2	9	6	9	10	6	4
8	9	12	16	19	16	13	15	14	8	15	8	16	15	11	13
2	6	10	9	6	12	7	5	10	3	11	7	11	12	8	7
7	8	2	14	10	16	13	9	14	9	15	13	15	13	11	3

No.142 社協 かかみがはら 発行／各務原市社会福祉協議会 〒504-0912 各務原市那加桜町2-163 総合福祉会館2階 TEL058-383-7610 FAX058-382-3233 E-mail shakyo@chive.ocn.ne.jp

芸能界一天気にくわしい

石原良純さん来たる！

第44回各務原市社会福祉大会

■日　時　11月25日（木）午後1時～3時30分
■内　容　福祉関係功労者表彰と記念講演
石原良純さん（俳優）　演題『石原家の愛』
■会　場　各務原市民会館
■入場料　入場無料ですが、整理券が必要です。整理券は10月20日（水）午前8時半から次の窓口で配布します。
【各市民サービスセンター・川島振興事務所・市民会館・市役所社会福祉課・社会福祉協議会事務局】
■問合せ先　社会福祉協議会総務課　☎058-383-7610

石原良純氏

平成23年度 社会福祉協議会職員募集のお知らせ

①採用期日	平成23年4月1日
②資格要件	看護師資格を有する者
③募集人員	正規職員1名
④試験日	第1次・筆記試験　1月下旬（予定） 第2次・面接試験　2月中旬（予定）
⑤試験会場	各務原市総合福祉会館　3階
⑥受付期間	平成22年12月20日～平成23年1月21日 （土日、祝日、12月29日から1月3日を除く） 午前8時30分～午後5時15分
⑦申込用紙の交付	社会福祉協議会の事務所にて12月1日から交付。郵送を希望する場合は、封筒の表に「申込書請求」と朱書、返信先を明記した80円切手をはった定形封筒を同封。
⑧詳細・問合せ先	各務原市社会福祉協議会総務課 ☎058(383)7610

老人デイサービス嘱託看護師募集

詳細は各務原市社会福祉協議会総務課☎058(383)7610までお問い合わせ下さい。

『市民福祉講座』のご案内

社協では昨年に続き、地域住民による見守りなど支えあい（共助）の大切さを学ぶ「支えあいサポーター塾」を開催し、37名の方が参加されています。
このサポーター塾として開催する講演会について、一般の方も参加できます。

市民福祉講座①
認知症でも安心して暮らせるまちづくりのヒント
■日時　10月26日（火）午後1時30分～4時
■内容　近隣ケア活動発表・八森淳氏（地域医療研究所医師）講演

市民福祉講座②
爽やかな生き方を考える
■日時　12月13日（月）午後1時30分～4時
■内容　ボランタリーハウス・障がい者施設の活動発表・村上太胤（たいいん）氏（奈良薬師寺執事長）講演

村上太胤氏

■会　場　講座①②ともに、産業文化センターあすかホール
■入場料　入場は無料ですが、電話で申し込みが必要です。
■申込先　社会福祉協議会　総務課　☎058-383-7610
申込の際、①②のどちらかをお伝えください。

善意のご寄付をいただき誠にありがとうございました

（敬称略・順不同　平成22年6月16日～9月24日）

金　銭

・波多野　耕三	9,000円
・坂井　熙	50,000円
・株式会社ロマンティア	160,488円
・株式会社ロマンティア職員一同	10,146円
・ピースフルマーケット運営事務局	2件　5,468円
・松浦　義一	100,000円
・宇野　巳代治	5,568円
・航空自衛隊岐阜基地盆踊り実行委員会	45,035円
・東濃信用金庫鵜沼支店募金箱	382円
・岐阜信用金庫蘇原支店	12,300円
・デイサービスすゑの愉	11,200円
・各務原市理容師会	18,876円
・グランワールドカップ各務原店	1,176,000円
・匿名　2件	計 40,000円

物　品

・JAぎふ女性部かかみがはらブロック
・イトーヨーカドー各務原店
・小林　啓子
・黒野会館
・大野　博子
・酒向　睦
・夢屋各務原店
・各務原市理容師会
・日下　仁

ひとこと

わたしにとって、七月までの一年は、九（苦）越えをまさしく実感した年だった気がする。これまで「健康」については、大病もなくある意味で自信をもっていた。五十歳を前にしたある日、メタボ傾向の解消と、禁煙を目標とした。週末には身近な山歩きなど適度な運動で、ある程度効果がみえてきた。そんな折、突如目の病による初めての入院体験や、二十年近く続けていたバンド活動の中断などもあった。
こんな思ってもみない出来事が起きて、どう乗り越えるかで次の代の生き方が決まるという。新たなチャレンジを見つけたい。（古土立　健）